

【問い合わせ先】 サウンドコネクション ☎0120-847371  
 休：毎週水曜日 営：10:00～20:00 http://www.soundconnection.co.jp

# SOUND CONNECTION

## サウンドコネクション

神奈川県大和市にあるサウンドコネクション。アメリカや日本で実績のあるカーセキュリティ「バイパー」取り付けのプロショップだ。セキュリティの取り付けは、その防犯性能をフルに発揮させるために、プロとしてのノウハウが必要。たとえば配線カットやシステム解除が出来てしまうような取り付けでは意味がないので、同店のような実績のあるショップに依頼するのがベストだ。

「プリウス専用品とっていい、VIPER 3303Vが予算的にもパフォーマンス的にもおすすめです。CAN BUS方式の次世代型デジタルセキュリティで、純正キーレスやスマートキーと連動するタイプです。セキュリティ用のリモコンも不要で使いやすいモデルです。逆にもっと各種センサーを追加したりの拡張性やリモコンでセンサーの感度調整をしたりという高機能を追求するなら、VIPER3000Vがおすすめです。従来方式のアナログでリモコンが付属するタイプですが、もっとも人気があるのが、これです」と、同店インストーラーのヒデキ氏。

サウンドコネクションでは、このセキュリティ以外でもプリウス関係には力を入れていて、HIDヘッドランプやクルーズコントロールの後付けなども行っている。同店にはエアロやUSパーツでドレスアップしたデモカーも展示中。セキュリティはもちろん、プリウスをイジりたいという人も一度、訪れてみるといい。



プリウス関係のドレスアップ&カスタムも得意。同社には30系プリウスデモカーもある。口の窃盗団でも簡単に解除できない取り付け法など、プロショップのならではの技術を持つ。



セキュリティで多くの実績を持つサウンドコネクション。セキュリティ専用の取り付けブースを持ち、豊富なノウハウで高品質の取り付けを行う。



VIPER3903V 価格 7万9800円(工賃込み)  
 プリウスのCAN-BUSに対応した新世代のデジタル方式。純正のキーレス、スマートキーに連動してセキュリティのオンオフが入るので、リモコンなど付属することなく、使い勝手のいいシステム。



VIPER330V 価格5万9800円(工賃込み)  
 コストパフォーマンスに優れたエントリーモデル。純正キーレス&スマートキーによるロック・アンロックの操作により、セキュリティが作動・解除するアナログタイプ。



VIPER330V 価格5万9800円(工賃込み)  
 コストパフォーマンスに優れたエントリーモデル。純正キーレス&スマートキーによるロック・アンロックの操作により、セキュリティが作動・解除するアナログタイプ。



人気のVIPER3000Vのリモコン。5ボタンの高機能で、いろいろな設定が可能。値段はやや高めだが、その価値はある。

クルマを狙う人間に威嚇効果を発揮するバイパーロゴのスキヤナー。盗む気を萎えさせる効果は絶大。

インストーラーのヒデキ氏。価格や仕様など、ユーザーの希望に合わせたセキュリティを提案してくれる。



プロシヨンのカーナビがその3分の1を占める。そんなわけで少しばかり不安になる数字を並べたけれど、車両盗難や部品狙いの犯行時間はおおむね短時間。長くて20分、中には1〜2分というケースも。つまり、盗みにくいと判断されれば、泥棒は去っていくというわけだ。

幸いにしてプリウス盗難の話はあまり耳にしない。しかし、予防的措置、そして車上荒らしへの対策を講じることが、愛車を守る上で大切である。と、知っておいて欲しい。クルマを離れるときは必ず施錠する。暗い場所人気がない場所にクルマを止めない。そして車内に貴重品を置いたままにしない。こうしたことをアタマに入れ

つつ、さらに強い味方になってくれるのが、カーセキュリティだ。

最近では、プリウスのCANBUSに対応したデジタルの専用品とも言える使い勝手のいいシステムも登場している。

メーカーオプションでセキュリティホーンもあるが、車内サイレンやショックセンサー、超音波センサーなど社外品のセキュリティのガードの強さには及ばない。また、割ったガラスから忍びこみ、ドアを開けずに車内を荒らすなんて犯行には、純正品では対処のしようがない。いずれにしても、自分の使い方や必要に応じて純正系もしくは多様な社外セキュリティからチョイスしていけばいい。

アフターマーケットのセキュリティの魅力は、使う人の要望に合わせてさまざまなアレンジができることである。ショックセンサーでクルマの異常を知らせたり、車内サイレンで威嚇効果の強い仕様にするなどなど。また、リモコンでセキュリティの感度などを操れる高機能モデルもある。セキュリティの高い機能で知られるバイパーからは、新型プリウス対応のデジタルモデルも登場。



自動車の盗難件数は減少傾向にある。しかし、だから安心かといえばノーだ。最近、狙い打ちの傾向が強くなり、クルマはもちろん、車上あらしも、特定のモデルを狙って盗むというケースが多数を占めるのだ。大切なプリウスを守るため、車上あらしに合わないための予防策としてカーセキュリティの重要性を知っておこう。

## 大切なプリウスを守る カーセキュリティを考えよう

自動車の盗難件数はそのピークだった2003年の約6万5000台から、年々減少しはじめ、2008年は2万7000台、そして2009年は1〜10月期までで2万2000台という数字を示している。これまではキーを付けっぱなしで放置し、被害に合うというケースが全体の3分の1ほどあったが、近年ではその割合は4分の1ほどに減っている。つまり、カギを掛けていても盗まれるクルマの割合では増えている。と、もいえるのだ。自動車盗難に対する意識も変わりつつあるが、自動車盗難のプロ化、そして特定のモデルを狙い打ちにする傾向がわかる。

都道府県別に見ると、愛知、千葉、大阪、茨城、兵庫、神奈川、埼玉、福岡、栃木、北海道がワースト10で、このエリアで全体の8割が盗まれていることになる。

に盗難率が急増するケースがある。古くはアリストやランドクルーザー、クラウン。最近ではハイエース、ワゴンR。需給の関係といわれているが、盗難車市場にも人気モデル？というのが存在し、やはり狙い打ちの傾向がある。まさかプリウス人気なんてことにならないように祈りたい。さて、もう一方で車上荒らしの被害も多い。ここ最近、こちらも減少傾向にあるのだが、自動車盗難件数のような減少カーブでなく、たとえば東京都の場合では昨年で8711件、今年平成21年は上半期で4211件と横這い。ちなみに、これは認知件数であり、被害が警察に届けられたもの。車両盗難と異なり、未遂やクルマへのイタズラなど届け出なしで済ませるケースも多くなると考えられるので、実際の被害はもっと多いと予想できる。

とはいえ、自動車盗難は減っている。この減少の大きな理由のひとつがイモビライザーの普及によるもの。もちろん、イモビライザー付きの車両も被害にあっているのだが、その件数はイモビライザーなしに比べると、5%程度のわずかなものになっている。プリウスも全車標準となっているので、この点では、盗まれにくいといえる。しかし、これまでの自動車盗難の傾向をみると、モデルごと

全国では1日100件の自動車関連の盗難件数があり、9割以上は、車上荒らしと部品狙い。ちなみに、自転車やバイクの盗難件数よりも、これは多い数字。被害総額は15億7000万円で、これにガラスを割られたなどの車両損壊の被害額は含まれていない。部品狙いでもっとも多いのはカーナビで、半数近くを占める。しかも、なんと盗まれにくそうなお印象のあるメーカーやディーラーオ